

# News Release



2009年11月9日

## BASF、燃料電池事業を再構築

- 米国ニュージャージー州サマセットの BASF フューエル・セル社に集約
- ドイツ、フランクフルトの BASF フューエル・セル拠点は閉鎖
- フランクフルトでは 43 人を削減

BASF(本社:ドイツルートヴィヒスハーフェン)はこのほど、燃料電池市場向け事業の再構築を発表しました。今後、高温形 MEA(膜・電極接合体)の製造は、ニュージャージー州サマセットに集約します。ドイツ・フランクフルトにおける BASF フューエル・セル社の活動は 2009 年 12 月 31 日付けで終了し、同フランクフルト拠点は 2010 年中に閉鎖する予定です。

米 BASF フューエル・セル社のサマセット工場では、高温形 MEA のほか、電極などの重要な構成部材の生産を行っています。サマセットは、MEA の生産工程全体を網羅できる唯一の工場です。

BASF フューエル・セルの事業を統括する BASF 無機化学品事業本部の責任者、ステファノ・ピゴッツィは、次のように述べています。

「サマセット拠点は、統合された生産施設であるほか、お客様そして家庭用コジェネレーション燃料電池システムといった今後の成長が見込める市場により近いという利点があります。現在、二つのサイトに分散している事業を集約することで、総合的な競争力を強化してまいります」。

今回の事業再編に伴い、フランクフルトでは 43 の人員が削減されます。

お問い合わせ:  
BASF ジャパン株式会社  
大倉 真紀  
TEL: 03-3796-4865  
FAX: 03-3796-4111  
maki.okura@basf.com

BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ  
住所: 〒106-6121  
東京都区六本木 6-10-1  
六本木ヒルズ森タワー21 階  
TEL: 03-3796-4865  
FAX: 03-3796-4111  
<http://www.japan.basf.com>

「今後、従業員の代表と話し合い、社会的責任が果たせる形の処遇を模索したいと思います」と、フランクフルト BASF フューエル・セルの CEO、ホルスト・トレラントは述べています。

BASF では、フランクフルトとサマセットのほか、2008 年 5 月より四日市にも開発センターを設置しています。同センターでは、日本のお客様を対象に今後も各種用途の開発サポートを提供していきます。

BASF は、従来型燃料電池部品のリーディングサプライヤーです。燃料電池の心臓部にあたる MEA では、水素と空気から水を生成する反応を利用して、電力と熱を同時に取りだすことができます。BASF では Celtec(セルテック)ブランドのもと MEA を販売し、今後ますます重要となるエネルギー供給問題に対する燃料電池業界の対応を支援しています。

高温形 MEA のセルテックは、家庭用コージェネレーションから停電時の電力供給を確保するバックアップシステムまで、さまざまな製品に採用されています。

#### **BASF について**

BASF(ビーエーエスエフ)は、「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。製品ポートフォリオは、化学品、プラスチック製品、高機能製品、農業関連製品、ファインケミカル製品、石油・ガスから構成されています。信頼に応えるパートナー企業として、あらゆる業界のお客様のさらなる成功をサポートしています。BASFは、高付加価値製品と高度なソリューションの提供を通し、気候保全やエネルギー効率の向上、栄養、モビリティの改善などの世界的な課題の解決に重要な役割を果たしています。2008 年は620億ユーロ以上の売上高を計上、2008年末時点での従業員数は約9万7,000人です。BASFのホームページアドレスは、[www.basf.com](http://www.basf.com)、BASF ジャパンのホームページアドレスは、[www.japan.basf.com](http://www.japan.basf.com)です。